

efit+ for Handheld Ver.1.1.2.0 アップデート概要

2013年7月
株式会社 ニコン・トリンブル

本書では、efit+ for Handheld Ver.1.1.2.0 で、変更された機能の概要を説明します。

■ ソフトウェア構成表

◆efit+ for Handheld Ver.1.1.2.0 の製品構成は下記の通りです。

製品名	コード	備考	改良
efit+J 測量基本ソフト	B-E1-J00	基本キットに含まれます	Trimble R10 GNSS電子気泡管対応など
efit+J RTK/DGPS観測	B-E1-J59		Trimble R10 GNSS電子気泡管対応など
efit+J 登記観測点検証	B-E1-J61		
efit+J GNSS静止/高速静止観測	B-E1-J01	基本キットに含まれます	

■ システム名変更

◆本バージョンよりシステム名を「efit+ for GPS Pathfinder」から「efit+ for Handheld」に変更しました。

※「Handheld」は、「Trimble 3D」「Trimble 3B」「Trimble SB」「GPS Pathfinder」で動作することを表します。

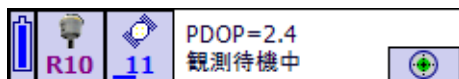
■ 電子気泡管の表示

RTK/DGPS観測オプション

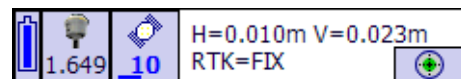
◆本バージョンより「Trimble R10 GNSS」に搭載されている電子気泡管が表示できるようになりました。

◆「Trimble R10 GNSS」が接続されると、GNSS ステータスバーに[気泡管]ボタンを表示します。

【観測待機画面のステータスバー】



【移動局観測画面のステータスバー】



◆[気泡管]ボタンを押すと「気泡管」画面が表示できます。

内側の円が許容範囲となります。

【許容範囲内】



【許容範囲外】



【チルト調整が必要時】



【観測待機画面の場合】



※気泡管は、受信機の操作パネルを「手前」に向けた状態を想定していますので、気泡管を使用する場合は、受信機の操作パネルの向きに注意してください。



【許容範囲】

許容範囲の内側円は、アンテナ高と「電子気泡管設定」で設定されている「気泡管感度」と「チルト許容範囲」から計算して表示します。

アンテナ高の設定のない観測待機画面では、許容範囲を表示できません。

◆表示する電子気泡管の設定とチルトの調整が行えます。

※チルトの調整には有効期限が設けられていて有効期限を過ぎるとチルトの調整を行なわないと電子気泡管の利用はできません。

(受信機情報画面)

受信機情報

受信機タイプ: R10
 シリアル番号: 5228492040
 バージョン: 4.80

電源: 84%
 メモリ残量: 4152360 / 4194304

項目	搭載オプション
【移動局】	
補正入力	[CMRx][CMR+][CMR][
NMEA出力	有り
RTCM入力V...	[3.0][2.3][2.2][2.1][2

気泡管設定

電子気泡管設定

気泡管感度 40分 気泡管表示

気泡管反応速度 中速 チルト調整

チルト許容範囲 0.020 m

チルト調整後の期限 50日0時間 編集

チルト調整の有効期限:
 チルトが無効になるまで
 あと49日23時間59分58秒

チルト調整の状態:
 チルト調整が正常終了しました。

チルト調整

チルト調整を開始します。
 正準された整準台に機器を
 水平に置き動かさないように
 固定してください。
 準備ができたら[OK]を選択
 してください。

OK キャンセル

受信機を**水平な場所**に置き[OK]を選択すると調整を開始します。

チルト調整中

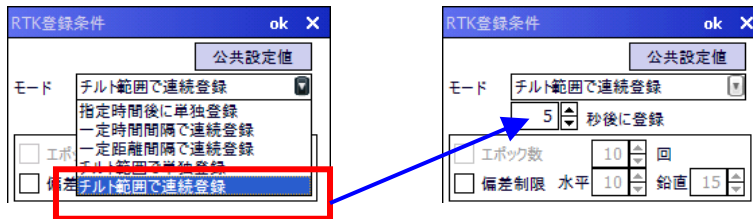
調整結果を「チルト調整の状態」に表示します。

【チルト調整】

チルト調整は必ず屋外で行なってください。

調整時に GNSS 衛星から時刻を取得していますので屋内で調整は行えません。

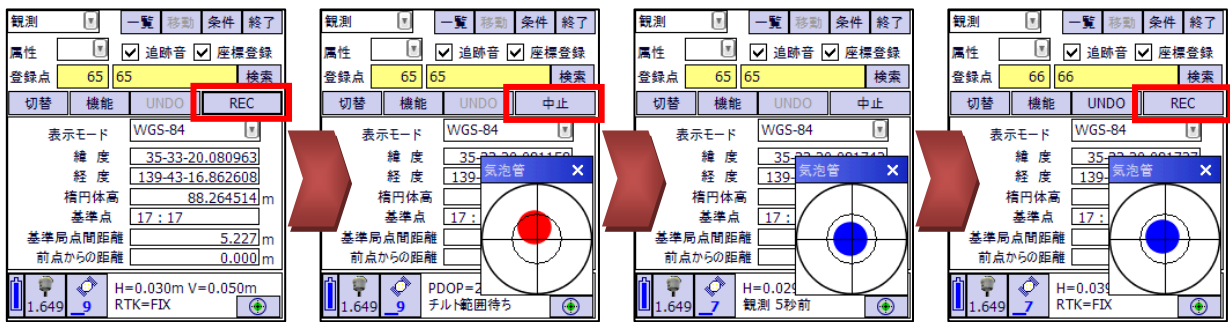
- ◆本バージョンより、GNSS 観測時の気泡管の気泡が許容範囲内に入ればデータの記録を開始するモードを追加しました。
- ◆「ユーティリティ→条件設定→RTK 登録条件」画面の「モード」に「チルト範囲で単独登録」と「チルト範囲で連続登録」を追加しました。



モードに「チルト範囲で単独登録」もしくは「チルト範囲で連続登録」を選択すると「秒」に指定を行います。「秒」は、気泡が許容範囲に入ってから何秒後にデータを記録するかを設定します。

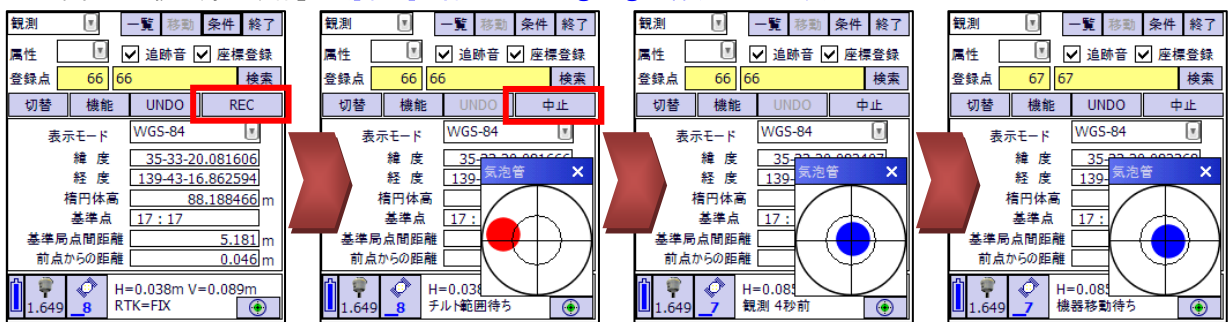
- ※「チルト範囲で単独登録」もしくは「チルト範囲で連続登録」モードを選択した場合、エポック観測は行えません。
- ※「チルト範囲で単独登録」もしくは「チルト範囲で連続登録」モードを選択しているが、電子気泡管を搭載しない受信機を使用した場合は、「指定時間後に単独登録」のモードを選択した時の動作となります。

【チルト範囲で単独登録の動作】



- ①FIX 後、[REC]ボタンを押します。
- ②[REC]が[中止]に変わりGNSSステータスバーに「チルト範囲待ち」のメッセージが表示されます。
- ③気泡が許容範囲（内円）に入ると記録までのカウントダウンが始まります。
- ④データ記録後、[中止]が[REC]に変わります。

【チルト範囲で連続登録の動作】（[中止]が押されるまで②～④が繰り返されます）



- ①FIX 後、[REC]ボタンを押します。
- ②[REC]が[中止]に変わりGNSSステータスバーに「チルト範囲待ち」のメッセージが表示されます。
- ③気泡が許容範囲（内円）に入ると記録までのカウントダウンが始まります。
- ④データ記録後、GNSSステータスバーに「機器移動待ち」のメッセージが表示されます。機器を移動もしくは、気泡を一旦範囲外にします。

◆本バージョンより、アンテナ高の入力時に入力案内画面を表示して入力が行えるようになりました。

アンテナ情報

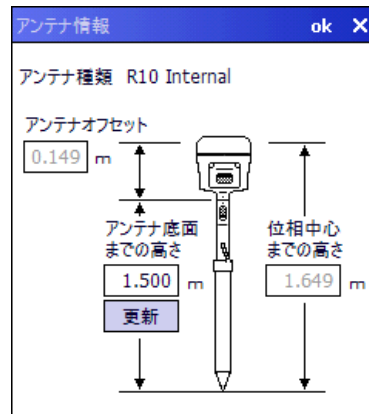
タイプ:
R10 Internal

測定方法:
公称アンテナ位相中心

高さ:
1.649 m

更新

入力案内



RTK移動局設定

アンテナ
アンテナ種類 R10 Internal

アンテナ高 1.649 m

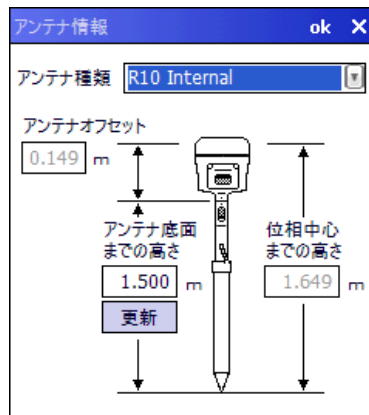
アンテナ S/N

補正信号
フォーマット種類 CMRx

捕捉衛星
 GLONASS QZSS

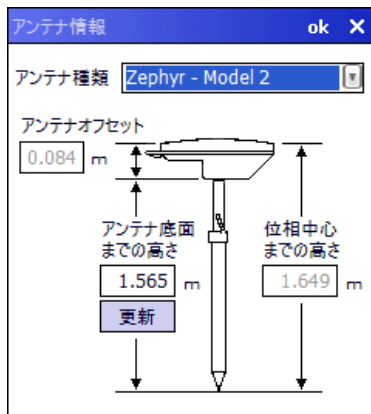
捕捉信号
 L2C L5

入力案内

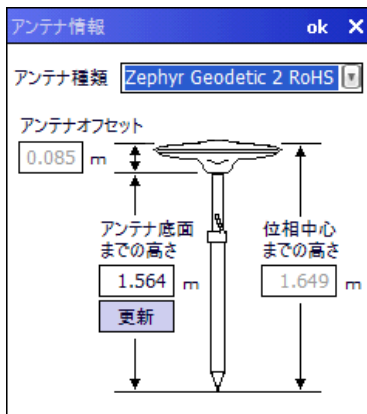


◆選択されているアンテナの種類によりガイド図が変更されます。

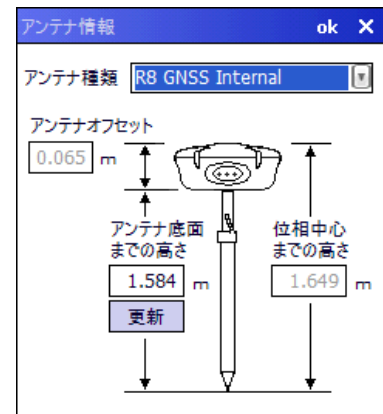
【Zephyr 関連】



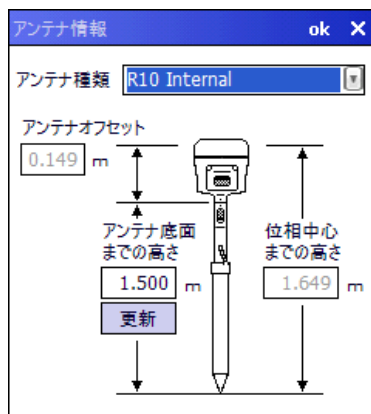
【Zephyr Geodetic 関連】



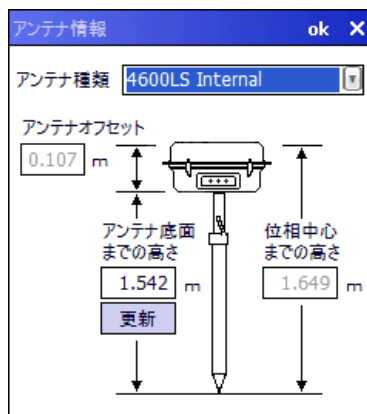
【R シリーズ Internal 関連】



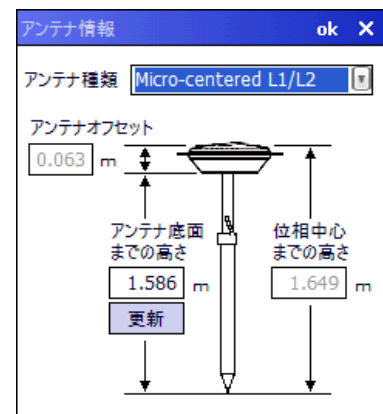
【R10 Internal】



【4600LS Internal/4800】



【その他】



- ◆本バージョンより、GNSS 衛星の L5 信号を利用して観測が行えるようになりました。
- ◆GNSS 設定内の「RTK 基準局設定」と「RTK 移動局設定」の捕捉信号に「L5」を追加しました。

RTK基準局設定 ok X

アンテナ

アンテナ種類 Zephyr Geodetic 2 RoHS

アンテナ高 3.085 m 入力案内

アンテナ S/N

補正信号

フォーマット種類 CMRx

捕捉衛星

GLONASS QZSS

捕捉信号

L2C L5

RTK移動局設定 ok X

アンテナ

アンテナ種類 R10 Internal

アンテナ高 1.649 m 入力案内

アンテナ S/N

補正信号

フォーマット種類 CMRx

捕捉衛星

GLONASS QZSS

捕捉信号

L2C L5

以上